

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三菱電機ロジスティクス株式会社(仮)	階数	地上3F
建設地	茨木市	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年4月8日
敷地面積	23,775 m ²	作成者	松村 和行
建築面積	4,063 m ²	確認日	2019年4月8日
延床面積	11,083 m ²	確認者	松村 和行



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 耐用年数の高い建材の使用、節水型機器の使用は資源の有効利用になり 自然換気機能が十分な事務室と広さのあるリフレッシュスペースの計画は 作業者の快適な環境へつながる		その他 特になし
Q1 室内環境 自然換気有効開口面積が床面積の1/10以上	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上で十分な空間の確保しており、主要内装仕上げ材の更新間隔20年以上と長く、主要配管の2種にB以上を使用し Eは不使用	Q3 室外環境(敷地内) 空地率=82.45%
LR1 エネルギー BPI _m =0.75 BEI _m =0.53	LR2 資源・マテリアル トイレに省水型機器の採用しており、躯体と仕上げ材が容易に分別可能な建材を使っている	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率78% ガス燃焼機器を使用しておらず、適切な駐車スペースを確保している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0020

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	三菱電機ロジスティクス株式会社(仮称)彩都1期新築工事						
	建設地	茨木市						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	対象外

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		